

「アーカイブ中核拠点形成モデル事業」成果報告会 実施概要

【テーマ】

文化庁アーカイブ中核拠点形成モデル事業報告会
「日本のデザイン資源を考える」

【主旨】

歴史的・文化的価値のある貴重な文化関係資料が散逸・消失することを危惧し、近年各種の文化関係資料のアーカイブを構築する動きが活発になってきています。デザイン資料もまたこの例に漏れませんが、これらアーカイブ資料の保存・活用や情報共有についての望ましい仕組みは、いまだ定まっているとは言えません。

「アーカイブ中核拠点形成モデル事業」は、文化庁が多岐にわたるデザイン資料のなかから、グラフィック・デザイン分野を京都工芸繊維大学美術工芸資料館に、プロダクト・デザイン分野を武蔵野美術大学美術館・図書館に、ファッション・デザイン分野を文化学園大学和装文化研究所に、それぞれ拠点として委託し、各分野の現状調査、分析、課題の共有及び解決へのネットワークづくり等を目的として平成 27 年度より三年間にわたり実施してきた事業です。

本報告会では、三年間の活動成果を報告するとともに、我が国のデザイン資源の現状や課題について討議し、デザイン・アーカイブの今後について考える機会とします。

【主催】

文化庁委託事業：アーカイブ中核拠点形成モデル事業

[構成機関 京都工芸繊維大学 文化学園大学 武蔵野美術大学]

【日時・会場】

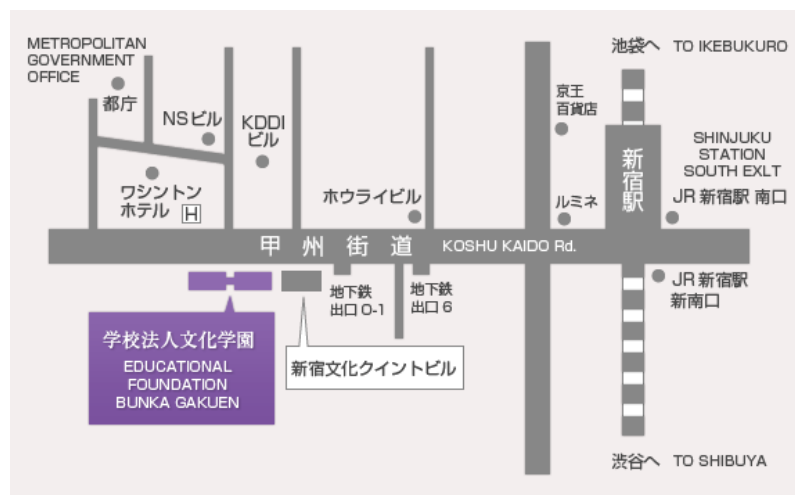
日 時 : 平成 30 年 1 月 20 日 (土)

事業成果報告会 13:30~18:00 (受付開始 13:00)

情報交換会 18:30~

会 場 : 文化学園大学 A 館 20 階 A201 講堂

東京都渋谷区代々木 3-22-1 新宿駅より甲州街道を初台方面に徒歩 7 分



【参加費・定員】

参加費 : 無料

定員 : 150 名 (先着順・予約不要)

【運営】 株式会社ミュージアムメディア研究所

【構成】

[第一部・各中核拠点からの活動成果報告]

本事業の3カ年にわたる活動について、グラフィック・デザイン分野を京都工芸繊維大学から、プロダクト・デザイン分野を武蔵野美術大学から、ファッション・デザイン分野を文化学園大学から、報告する。

[第二部・デザイン・アーカイブの現状と課題]

第一部の各拠点の活動報告内容を受け、外部有識者である3名より本事業についてコメントをいただく。渡部葉子氏からデザイン・アーカイブ全般について、中川麻子氏からはファッションとアーカイブについて、植木啓子氏からはグラフィック、プロダクトとアーカイブについてとする。これらのコメントと第一部の報告内容をもとに、全体討議を行う。

【進行表】(予定)

13:00-13:30 受付
13:30-13:35 文化庁あいさつ
13:35-13:45 本事業について：並木誠士（京都工芸繊維大学 教授）

[第一部 各中核拠点からの活動成果報告]

13:45-15:30 グラフィック・デザイン分野：平芳幸浩（京都工芸繊維大学 准教授）
プロダクト・デザイン分野：田中正之（武蔵野美術大学 教授）
ファッション・デザイン分野：田中直人（文化学園大学 准教授）

15:30-15:50 休憩

[第二部 デザイン・アーカイブの現状と課題]

15:50-17:50 ディスカッション、質疑応答 モデレーター：平芳幸浩（京都工芸繊維大学 准教授）
登壇者 植木啓子（大阪新美術館建設準備室 主任学芸員）
中川麻子（大妻女子大学 准教授）
渡部葉子（慶応義塾大学 教授）
柏木 博（武蔵野美術大学 名誉教授）
近藤尚子（文化学園大学 教授）

17:50-18:00 全体のまとめ：並木誠士

18:30- 情報交換会

情報交換会については事前申し込みが必要です。

■場所 文化学園大学 C館 20階 スペース 21（シンポジウム会場となり）

■日時 平成30年1月20日（土） 18:30～（シンポジウム終了後すぐ）

■参加費 3,000円（当日会場にてお支払いください）

■申込方法 こちら（↓）の申込フォームよりお申し込みください。

<https://ssl.form-mailer.jp/fms/801a999e546645>

定員に達しましたら申し込みは締め切らせていただきます。

本件問い合わせ先：
武蔵野美術大学 アーカイブ中核拠点形成モデル事業事務局
d_archive@musabi.ac.jp

武蔵野美術大学 美術館・図書館
TEL:042-342-6003/FAX:042-342-6451
東京都小平市小川町 1-736 〒187-8505